

令和5年5月18日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム生馬の郷

サービス種類…（介護予防）認知症対応型共同生活介護

次の会議開催予定日…7月

開催場所…グループホーム生馬の郷 相談室

出席予定者

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	1人	地域代表者	5人
松江市職員	0人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他（ ）	人

議事・議題

●令和5年度 利用者状況(令和5年5月現在)

- 入居者数：18名（男性4名 女性14名）
- 平均年齢：89.6歳（最高年齢101歳、最若年齢：79歳）
- 平均介護度：2.6

●介護度の推移

介護度	令和5年5月	令和4年5月
要支援 2	0名	0名
要介護 1	3名	6名
2	8名	4名
3	1名	3名
4	5名	5名
5	1名	0名

平均介護度 2.6 (昨年同月 2.3)

●スタッフの推移

- ・介護職員：15名
- ・介護支援専門員：1名(介護職員兼務)
- ・看護職員：0名(訪問看護にて対応)
- ・事務員：1名
- ・調理職員：2名
- ・清掃職員：2名

●5 類引き下げ後のコロナ対策について(運営推進会議の開催方法、利用者の面会・外出禁止の解除)資料をもとに説明。

【質疑応答】

Q、夜勤の体制はどのようなになっているか。災害の際の体制について。

A、各ユニットに1人ずつ夜勤者が勤務している。年一回夜間想定避難訓練実施している。連絡網もあり施設に近い職員から連絡をするようにしている。水害に関しては情報を確認したり土嚢を置いたりしている。地域の方から何かあればすぐ連絡してもらえれば動きますとの協力の意見をいただけた。

Q、待機者は何人いるのか。沢山施設があった方がよいのではないか。

A、現在は4人だが少し前は十数人おられた。減少の理由は、亡くなられたり病院や施設入所の為。施設が増えても、働く職員確保が難しい現状がある。

【意見】

- ・コロナが5類に下がり、面会が解除されたりする中で、感染がどうなるか心配。
→お盆明けなどに大きな波がくるのではとの予測もされているが、流行の動向を確認しながら出来れば面会の解禁を続けていきたいと思う。
- ・行方不明者がでた場合は早めに駐在所に連絡してもらえれば捜索範囲も狭めて捜索ができる。入所者の顔写真があれば準備しておいてもらえると、警察官のスマホで共有できる様になっている。警察犬が出動する場合、匂いのついたものを準備してもらいたい。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐